



貧困と脳

「働かない」のではなく「働けない」

鈴木大介＝著

定価 1056 円（本体 960 円＋税 10%）

幻冬舎 ☎ 03-5411-6211

20 年余り、バリバリ“健常脳”でライターとして活躍してきた著者が脳梗塞を発症し高次脳機能障害を持つ身となった。そこで、長年取材してきた貧困当事者のなかに、約束が守れなかったり、だらしのない人が多かったことに気づく。それがいまの自分に重なった。自己責任ではない、「働けない脳」のせいなのだ。彼らがサボっている、怠けているようにしか見えず、福祉制度につなげない、つながりにくい理由、そして支援の仕方を示す。

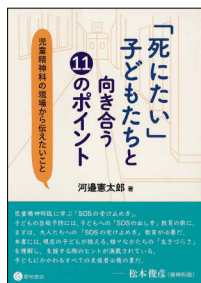
「死にたい」子どもたちと向き合う 11 のポイント

児童精神科の現場から伝えたいこと

河邊憲太郎＝著

定価 1980 円（本体 1800 円＋税 10%）

星和書店 ☎ 03-3329-0031



2024 年、小中高生の自殺が過去最多だったという。生きづらさを抱える子どもたちには、予防対策より先に、適切な対処や支援が必要だ。児童精神科医である著者が、事例を示しながら、「死にたい気持ち」を理解する 11 のポイント、自殺念慮に向き合うコツなど、手を差し伸べるためのヒントをくれる。

子どもと思春期の人のためのスキーマ療法 クライアントに変化をもたらす

早期介入と回復へのアプローチ

クリストフ・ルース、ピーター・グラーフ、ゲルハルト・ザルボック、ルース・A・ホルト＝編著、伊藤絵美、吉村由未＝監訳

定価 5060 円（本体 4600 円＋税 10%）

合同出版 ☎ 042-401-2930



「生きづらさ」を抱える人に対するアプローチとしてエビデンスのあるスキーマ療法。そのツールと技法を、乳幼児からヤングアダルトの領域に落とし込んだ初の手引書。子どもにかかわるすべての大人が、チームで実践する手法を習得できる。悪さをするスキーマはできるだけ早く手放すのがいい。

自己否定をやめるための 100 日間ドリル

坂口恭平＝著

定価 1760 円（本体 1600 円＋税 10%）

アノニマ・スタジオ ☎ 03-6699-1064



日本人には、意図せず日常的に自己否定している人が多い。年間 2000 人、13 年間、死にたいと思う人に向き合ってきた著者がたどり着いた、自分で自分をいじめない方法。自らも躁うつ病を抱え、壮絶な自己否定を繰り返してきた著者が、そのメカニズムを軽快な語り口で解き明かす。

まどか 26 歳、研修医やってます！

水谷緑＝著

定価 1320 円（本体 1200 円＋税 10%）

KADOKAWA ☎ 0570-002-301



本作は 2025 年 1 月期に TBS でドラマ化。水谷緑のコミックエッセイでは、常に登場人物の人となりや日常がいきいきと描かれている。今回の主役は研修医。医者を目指す人にも、研修医の“実際”を知ってみたい人にもおすすめ。いまはちょっと前にしている医者も、最初はここ＝研修医だったのだ。